

guide

安心して看護師をめざせるように

奨学制度のご案内

神戸医療生協は、看護師をめざして頑張っているあなたを応援しています。卒業後、神戸医療生協への入職の意思のある方ならだれでも申し込むことができます。

経済的な支援だけでなく、医療や看護、社会について学ぶ学習会、医系学生、医療現場で働くスタッフと交流する企画など、看護師をめざすみなさんを、積極的に支援しています。

月額 40,000円

●返済免除制度

貸与した奨学金の返済は、卒後、神戸医療生活協同組合に勤務した期間によって免除されます。

特別奨学金

奨学生を対象に、入学時や就学中に経済的な支援が必要と認められた場合に、50万円を上限とした貸付制度を受けることができます。(返済免除制度なし)

看護部携帯サイト



●問い合わせ方法

神戸医療生活協同組合 神戸協同病院（看護師長室）
〒653-0041 神戸市長田区久保町2-4-7 TEL 078-641-6211

医療生協
**神戸医療生活協同組合
神戸協同病院**

兵庫県神戸市長田区久保町2-4-7
Tel:078-641-6211 FAX:078-641-6309
hp <http://www.kobekyodo-hp.jp>



●交通のご案内

神戸市営地下鉄 新長田駅から南へ徒歩7分
JR新長田駅から東へ徒歩5分
JR山陽線 新長田駅から南へ徒歩7分
神戸市営バス 大橋2丁目から南へ徒歩2分
自家用車 阪神高速3号神戸線湊川IC西へすぐ

信じる力
寄りそう心
育ちあう絆

ナース
なりたい自分になれる場所
大事なものがきっと見つかる



神戸医療生活協同組合
神戸協同病院
医療生協

「やっぱりこの仕事が好き」

くじけそうな時、自分を信じる。

「あんたがいてくれると安心するんやあ…」

いきづまった時、患者さんに寄り添う。

「だいじょうぶ。だいじょうぶ。きっと出来るよ」

落ちこんだ時、仲間と育ちあう。

ひとりじゃないからがんばれる。

看護の仕事に、私、夢中です。



★医療生協の「患者の権利章典」

医療生協の「患者の権利章典」は組合員自身のいのちをはぐくみ、いとおしみ、そのために自らを律するものです。同時に、組合員・地域住民すべてのいのちを、みんなで大切にし、支え合う、医療における民主主義と住民参加を保障する、医療における人権宣言です。患者には闘病の主体者として、次の権利と責任があります。

医療生協って？

“いつでもだれでも安心してかかる病院がほしい”

そんな思いが集まって、1948年に協同診療所が生まれました。みんなの思いはどんどん大きくなって診療所は病院になりました。“いのちの平等”を大切にしているから、差額ベッド代はいただきません。神戸医療生協は、おなじ願いをもつ組合員のみなさまの出資金で医療活動をおこなっています。

神戸医療生協の組合員数は、約4万5千人。出資金は約16億3,700万円です。
(2009年12月現在)

- **知る権利**…病名、症状（検査の結果を含む）、予後（病気の見込み）、診療計画、処置や手術（選択の自由、その内容）、薬の名前や作用、副作用、必要な費用などについて、納得できるまで説明を受ける権利。
- **自己決定権**…納得できるまで説明を受けたのち、医療従事者の提案する診療計画などを自分で決定する権利。
- **プライバシーに関する権利**…個人の秘密が守られる権利および私的なことに干渉されない権利。
- **学習権**…病気やその診療方法および保健、予防等について学習する権利。
- **受療権**…いつでも、必要かつ十分な医療サービスを、人としてふさわしいやり方で受ける権利。医療保障の改善を国と自治体に要求する権利。
- **参加と協同**…患者自らが、医療従事者とともに力をあわせて、これらの権利をまもり発展させる責任。

place

看護の現場

人として看護師として育ち合う

「いつでも誰でも安心してかかる医療」をモットーに、患者さまと医療従事者との互いの信頼関係に基づき、急性期から慢性期まで総合的な医療・看護を提供します。



内科病棟
橋本看護師

日常看護の中では、初期看護師ならでは、あるいは中堅看護師ならではの気づきから一つの間にかカンファレンスになる事も少なくありません。

人工呼吸器を装着している夫の傍で、何もしてあげれず寂しそうにしている妻に、「私たちが心の支えになれないだろうか」そう切り出したのは3年目の看護師でした。

チーム全体で、“夫婦で時間を共有する”を目標に看護実践する中で、患者さんを中心に妻・看護師の信頼関係が深まり、患者さんの変化を共に喜びあえるようになりました。患者さんが他界された後も、自宅を訪問したりする中で、家族の気持ちを率直に聞き、自分たちの看護の振り返りもしています。

あたりまえのことだけど、患者・家族に寄り添った看護をチーム全体で実践し、みんなでやりがいを共有できる事。それが、私たちの自慢ですね。

2階病棟

回復期リハビリテーション病棟
田仲看護師

「安心して在宅へ帰ること」が、回復期リハビリテーション看護の大きな目標です。

そして、患者さんの自立を支援し、できなかつ事が出来るようになった時、患者さんや家族の方と一緒に喜びあえる事が、私たちの宝物です。

患者さんの抱える問題は様々ですが、その人らしく大切に、他職種が一つになって、生活環境を整えていきます。

そして、仕事を楽しくする事も大切にしています！スタッフみんなが楽しいと感じて働ける職場なら、きっと患者さんも楽しいと感じてもらえるんじゃないかなと思っているからです。だから、2階病棟は、スタッフも患者さん、家族もいつも笑顔でいっぱいです！



外来

1階外来
藤堂看護師

病棟とは違い、患者さんとゆっくり時間を共有することは難しいですが、気になる患者さんの情報交換をし、お互い助け合いながら、チームで看護を提供しています。私が担当する患者さんが、外来での化学療法を受けることになった時も、「信頼関係の出来ている藤堂さんなら、患者さんも安心して治療を受けられるから」と、先輩たちが持ち場を変わってくれ、患者さんに寄り添う時間を作る事に協力してくれました。患者さんへのかかわりのタイミングは、本当に難しいですし、工夫も求められるところですが、一人でも多くの患者さんの思いに寄り添えるようチーム全体で考え、実践していくたいと思っています。

—1995.1.17—

「阪神・淡路大震災」のこと

あの日あの時、不眠不休の看護

水
笠
通



大震災が残したもの

1995年1月17日午前5時46分、マグニチュード7.2の大地震がおきました。

歴史的大災害となったその時は、神戸協同病院が地域の中の医療機関として真価を問われた時でもありました。震災当時を知らない看護師が増える中、震災が私たちに残したもの語り継いでいくことの大切さを感じています。

当時の医師や看護師が、記録集や書籍に残した記録を紐解いてみました。震災を知っている人も知らない人も医療従事者としてあるべき姿、そして神戸協同病院が地域に存在することの大切さを知ってもらわればと思います。

震災直後より駆けつけた職員の多くが、「もう家族に会えないかもしれない」と覚悟をして不眠不休の活動に飛び込んで行きました。倒壊した家屋がせりだし、火の手の上がる街を病院に向かう原動力は、仲間への連帯と命を守ることへの使命感であったと思います。



全国から多くの支援を受けて

神戸医療生協の病院・診療所では、全日本民医連、日本生協連医療部会、ボランティアなど、全国から5,000人を超える支援を受け入れました。被災地の真っただ中でありながら生き残った神戸協同病院が、地域はもう一つの病棟という言葉通り、病院の中にとどまらず、地域の中で被災者の救命・救急医療、そしてさまざまな形での生活支援の活動をするなど、地域医療を自負する病院にふさわしい医療を展開することができた事を誇りに思います。



あなたたちに休んでもらうために神戸に来たのだからと自分の睡眠時間を返上して頑張りつけた人も多かった。
協同病院の活動は、このような人々の協力、支援によって支えられた。
戦前の無産者診療所の活動を受け継いで、1953年に設立され発展した働く人々の医療機関、それは北海道から九州、沖縄まで全国の仲間の協力によって、見事に役割を果たした。
岩波新書「神戸発脱神淡路大震災以降、地域はもう一つの病棟」道上佳子氏著より

全日本民医連に加盟しています

神戸医療生協の事業所は、働く人々の立場に立った無差別・平等の医療・福祉事業を行っている。全日本民主医療機関連合会（全日本民医連）に加盟しています。全国に1,700カ所以上の加盟事業所を持ち、職員数は6万2千人。友の会など会員数約320万人のサポーターがいます。

care

地域に根付く看護

いのちをまもる、元気をもらう！

私達は「いのちの平等」と、いつでも どこでも
だれもが安心できる医療をめざしています。

「患者の立場に立ち、患者の要求から出発し、
患者とともにたたかう」

私達が看護する上で、一番大事にしている
3つの視点です。



自由に発言できる職場づくり

カンファレンスでは、“安心して
地域（自宅）に帰れるように” そんな
思いを大切にしながら、一人一人
の患者さまについて、医師・看護師・
セラピスト・MSWなどが集まり、
それぞれの専門分野から包括的にと
らえ方向性を出していくます。

それぞれの職種が、同じ方向に向
かって専門職として医療・看護を展
開していく、そんな積み重ねが患者
さまのQOLを支えています。

私たちは患者さんを選びません。だから、
差額ベットもとりません。お金のあるなしで
提供する医療・看護に差別をしないことを誇
りにしています。

個室は、ターミナルの患者さんが、気がね
なく家族との時間を過ごしてもらえるように、
化学療法の治療中、感染予防の観点から必要
な患者さんのために、手術後の経過観察のた
めなど、医療・看護上必要な患者さんを優先
して使用していただいているます。

個室への転室のお話をすると、「お部屋代が
かかるので…」と心配される方もいますが、「安
心して治療を受けて下さい」と伝えると安堵
されます。

私たちにとってのあたりまえ、「差額ベット
代をとらない事」。これからもずっと守ってい
きたい大切なことです。

差額ベッド代は
いただきません。

いのち
の
平等。

あたりまえのことを守る



その人らしさに
寄りそつて

いのちと、
向きあう。
最期まで私らしく生きたい

「私は、延命は望みません。だから、呼吸器
も胃ろうもするつもりはありません。自然の
流れに添って命を全うしたいと思います。命
ある限り頑張ります。」

これは、ALS（筋萎縮性側索硬化症）で、
自分では指1本を動かすこともできないIさ
んが、意思伝達装置で書いたお手紙の一文です。

病気を発症し、動けなくなつてから離婚、
一人暮らしは困難だろうという判断で、神戸
協同病院に入院しました。しかし、Iさんは、
一人になっても自宅での生活を続けてい
きたいという強い思いがありました。Iさんの
思いと覚悟に寄り添い、ケアマネージャー
さんが中心になって障害者支援センターや区
の保健福祉課と連携しながら、在宅生活の調
整がされてきました。往診を担当する側では、
Iさんができるだけ安定した状態で生活
を続けていくように、また、ヘルパーさん
や訪問看護師さんの医療面でのサポートとい
う役割を持っていると考えています。同時に
急な病状変化時に、病院との間でIさんの思
いをきちんと病院に伝えていく役割を持って
いると考えています。

一人での生活をはじめられてから2年が
たった今でも、たくさんの人にささえられな
がら自宅での生活を送られています。

今日も、満足そうな笑顔で韓流ドラマを見
ているIさんから、私たちはたくさんの学び
をもらっています。

地域医療室 主任 加藤看護師

skill

わたしたちのスキルアップ

「育ち合う」看護。一步一步確実に。

患者さまの立場に立ち、親切でより良い医療看護が提供できるよう生命の尊厳と人権の尊重に努めます。



なりたいナースへ スキルアップ

神戸協同病院では、基礎教育後の成長を支援するために、専門職としてのキャリアアップも応援しています。

院内感染対策委員として感染管理に関わる中で、もっと専門的に学び、実践したいという思いで日本看護協会感染管理認定看護師をめざし、2005年度に認定を取得することができました。

リンクナース会議を中心に、現場の感染予防にかかる問題と一緒に解決していくよう日々頑張っています。

郭 感染管理師長

「呼吸療法認定士」教育プログラム

呼吸器疾患医療は、当院の特徴でもあり、看護師のスキルアップ研修として、「呼吸療法認定士」教育プログラムがあります。基礎学習と臨床における実践での学習を受けることができ、講義終了後から呼吸療法認定士の合格者が生まれています。

初期教育研修

1年目

初期Ⅰ…基礎看護の学び期

研修スケジュール

4月	オリエンテーション (法人・看護)
	合同注射実技研修
	看護・治療処置技術集中研修
5月	チーム業務導入研修
	定期入院の受け入れ
6月	夜勤研修
	緊急入院の受け入れ
7月～9月	業務の習熟を確認しながら、重症部屋の患者の受け持ち
10月～1月	反復研修
	事例をまとめための準備を開始する
2月	事例検討会

現場に入るまでに、注射実技や感染予防策などの実技研修があります。

日勤研修では、患者受け持ちも、プリセプターに指導を受けながら少しづつ増やしていきます。

夜勤デビューは習熟に合わせて、もちろんマンツーマンで指導を受けてから。

それぞれが関わった患者の事例をまとめ振り返りの中で学びます。



で力を合わせて看護を提供する。それが民医連（全日本民主医療機関連合会）の看護なんだよ」と先輩が教えてくれました。

自分の意見が反映される職場、そして看護の仲間と患者さんの回復をともに喜びあう事が出来る職場でこれからもがんばりたいと思います。

4階病棟 1年目 高橋看護師

合同学習会 初期Ⅰ

- 感染対策
- 創傷管理
- 危険な薬剤
- BLS
- 輸液療法
- 輸血療法
- 検体の取り扱い

奨学生として神戸協同病院と出会い入職しました。プリセプターをはじめ、たくさんの先輩たちにサポートしてもらいましたが、ようやく業務にも慣れ自分の成長を感じられるようになりました。そんな中で出会った患者さんのTさんは、廃用性症候群で「寝たきり状態」となった患者さんです。嚥下機能低下のため、経口摂取困難で、胃ろうから栄養剤を注入しています。“食べたくても、食べられない”“動きたくても自由に動けない”。そんなTさ

んにとってのQOLって何だろう」病棟カンファレンスの中で、そう投げかけたとき、スタッフ全員が動き出し、何度もカンファレンスを重ね、Tさんの「食べたい」を実現するために、毎日嚥下訓練と一緒に行いました。Tさんのがんばりもあり、ゼリーを一口食べることができた時の「ありがとう」と、とびっきりの笑顔が、私たちの看護のエネルギーになっています。

「新米看護師も先輩看護師も関係なく、患者さんの思いに寄り添う事ならみんな

①ステップアップ

2年目・3年目研修では、初期Ⅰ研修で学んだ基礎看護を応用させながら、エルダー、現場教育担当者の指導を受けながら学んでいきます。

2.3年目

初期Ⅱ…基礎から応用看護への移行期

初期Ⅲ…リーダー・指導者としてのキャリア開発・継続看護の学び期



一年目の研修中は、どちらかといふと受け身な自分がいましたが、重症の患者さんを受け持つことが多くなり、研修で学んだことが即実践につながる緊張感のある研修になってきました。毎日、時間が足りないくらい大変だけど、しっかり学んでおかないと責任を持って患者さんを受け持てないなと思いながら真剣に研修に取り組んでいます。

合同学習会

初期Ⅱ

- ACLS
- 肝がん・肝炎
- 呼吸器管理
- 内視鏡治療
- 介護保険について
- 呼吸器看護
- 循環器看護
- 化学療法
- 社会福祉
- 肝疾患

プリセプター 初期研修を卒業して



初期研修を終え、指導する立場になって、「人を育てる」という事を新たな課題として取り組んでいます。

プリセプティには、自分自身が先輩や患者さんが強いですが、自分で考え主体的に動けるように、アドバイスする努力をしています。そして、プリセプティと一緒に自分自身も楽しく仕事に取り組む事を大切にしています。

field

わたしたちの仕事場

神戸医療生協は、協同病院を中心に、4つの診療所、4つの訪問看護ステーションがあり、誰もが「その人らしく」暮らせるように、急性期の医療はもちろん、予防からリハビリ、在宅まで、地域に密着した多彩なフィールドで、患者さんの健康を支えています。

神戸協同病院

●診療科目●
内科、消化器科、循環器科、呼吸器科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、神経内科、放射線科、精神科、リハビリテーション科、人工透析

「何かあっても協同病院があるから安心」と言われるような信頼関係に基づいた医療・看護の提供を心がけています。

診療所

- いたやどクリニック
- 番町診療所
- ひまわり診療所
- みつわ診療所

医療生協の診療所は、地域のみなさんのもっとも身近な存在です。予防から外来医療、在宅医療まで、病院、介護と地域が連携し切れ目がない医療、福祉活動を行っています。

患者さまを疾患だけでなくトータルに見ていく視点を持ち、住み慣れた地域で誰もが「その人らしく」生きられるようささえています。

ひまわり診療所 竹崎師長

訪問看護ステーション

- つばさ
- さわらび
- にじ
- かけはし

「住み慣れた地域、我が家で自分らしく療養生活を送りたい」。経験豊かなスタッフが、患者さんと家族の思いに寄り添い、他の職種や関連機関との連携・協力で、予防から緩和ケアまで、幅広く質の高い看護サービスを提供しています。

STかけはし 西川所長

安心して働き続けられるために。

看護師を支える制度

24時間対応の保育園



長女は1歳から、下の双子は4ヶ月からひよこ保育園を利用しています。季節に応じた遊びや制作、クッキングなど楽しいことがいっぱいです、子どもたちはひよこ保育園が大好きです。24時間保育を利用して夜勤も安心して出来ています。優しくて頼れる先生に子供も親も安心です。



看護師を支える制度

新しくなった看護師寮

入職時より利用しています。とにかく新築なのできれいです。オートロックでアイホン付きなので安心！私のお気に入りは浴室乾燥機。お風呂もトイレとセパレートなのでゆっくり疲れを癒してくれます。

(3階病棟 兼田看護師)



看護師を支える全国のつながり

全国的な研究・交流の場

神戸協同病院では、青年を対象とした交流があり、職種を超えて仕事の悩みも相談できる取り組みを行っています。また、2年に1回、同世代の医療従事者と交流できる企画も全国各地で開催されおり、民医連（全日本民主医療機関連合会）に加盟する医療機関の若い世代が育ち合う企画として取り組まれています。